



石川県肢体不自由児協会  
石川県肢体不自由児者父母の会連合会  
会長 松田 郁夫

日頃より、石川県肢連の活動に際しましては、多大なるご理解とご支援を賜り心から御礼を申し上げます。昨年10月には、皆様方のご協力により、60周年記念式典が盛大に開催出来ましたことを心から感謝申し上げます。

昭和32年の設立当初から、我が子の成長・発達、豊かな生活・人生などを含めて、子ども達の「幸福」のために親同士が支え合うこと、社会や地域の人たちからの協力を得ることが目的であることは変わっていません。

しかし、時の流れは、障がい者家族の環境を良くも悪くも大きく変えていきます。現在では、障がいに対する理解も進み、当たり前になり学校、施設・事業所などに通えています。一方で、青壮年期にある我が子の介護に加え、自らも老いつつある体で、自身の親の介護を担いつつ、我が子の「より良き親亡き後のために」という課題を共通に抱えています。とは言え、共通の思いを分かち合う、相談し合う、励まし合うといったような、従来から重視されてきた事柄を内含させながらも、関連する諸機関・諸団体と連携を組み、より良い福祉の実現に向けて、会から社会的啓発・発信することを継続し、更にノーマライゼーションやインクルージョンの理念の実現に向けた活動が必要となります。

障がいのある子ども達のために、「親」として出来る事、「会」として出来る事を、皆様と共に考え、子ども達が社会や地域に支えられ、安心して幸せに暮らせる社会となるよう心から願いつつ、本会をこの先何十年も繋げて行く為に、私達世代の役割を果たしていけるよう今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年4月